

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 27 年 12 月 5 日	
所属部局・職	野生動物研究センター・博士課程学生
氏名	田島夏子

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
南知多ビーチランド
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
飼育下ハンドウイルカにおける当歳児の誕生直後からのペア遊泳行動の観察
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
平成 27 年 11 月 30 日 (1 日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
南知多ビーチランド 櫻井夏子主任
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
<p>本渡航は、継続的な観察が可能な飼育下ハンドウイルカの母子のペア遊泳時の社会行動を誕生直後から生後4か月まで観察し、ハンドウイルカ新生児における社会性の発達過程と母親の子育てへの投資の変化を明らかにするために水槽付近に取り付けた定点観察用のビデオデータの回収を目的とした。</p> <p>ビデオは、SONY XR550v、SONY XR590v の2台を三脚に取り付け、一台は屋外から水槽の上部全体が映るように設置し、一台は屋内の水中観覧窓から水槽全体が映るように設置したが、屋外に設置したビデオ機材が不調につきビデオデータは屋内に設置したビデオ一台のみからの回収となった。(図1、2)</p> <p>また、ビデオ設置時には水槽内に13歳のメスのハンドウイルカ一頭と、新生児のベビーシッター役として6歳のメスのハンドウイルカが一頭飼育されていたが、出産前に6歳のメスが死亡してしまったため、水槽内には母親と新生児のみが飼育されており、撮影記録も母子の行動のみとなっている。</p> <p>新生児はオスで、6月30日午前9時38分に無事生まれた。撮影期間は6月30日の出産直前から開始し、10月31日までとなった。撮影日数は計123日、総撮影時間は935時間となった。</p> <p>生後5か月のコドモは、母子でのペア遊泳の際に、接触、生殖孔を触る、噛む、追いかけあう等の社会行動も多く観察された。今後は、得られたビデオデータを用いてコドモの社会行動の発達過程を明らかにしていく予定である。</p>

図1. 屋外に設置したビデオ

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書
(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

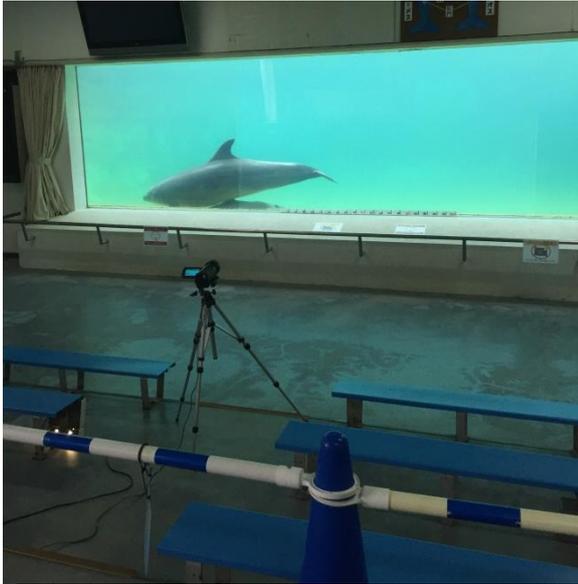


図2. 屋内に設置した定点観察ビデオ



図3. ペア遊泳中の母子

6. その他 (特記事項など)

快く観察依頼に応じてくださいました南知多ビーチランドの皆様、特に設置、観察の相談に乗ってくださいました櫻井夏子主任に心から感謝申し上げます。
また、本渡航を支援してくださった PWS プログラム関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。